

お年寄りを火災から守るためには

こちら
119番

- 消防テレガイド
☎69-6141
- 在宅医テレガイド
☎67-2828
- こちら119番
消防本部通信指令室
☎68-5119

住宅火災の犠牲者： 半数が高齢者

火災による死者の中で、特に目立つのが高齢者の数です。平成7年1年間に、住宅火災で死亡した人は全国で939人。そのうちの半数を超える503人が65歳以上の高齢者でした。

主な理由は、体力の衰えや病気が、体が不自由であったための逃げ遅れです。石油ストーブや電気製品の不注意な使用によって、一人暮らしのお年寄り自身に火災を引き起こすケースも少なくありません。

周囲の人の配慮が 高齢者を守る

高齢者を火災の犠牲者とするためには、まず、高齢者ご本人に身の回りの危険を自覚していただくことが大切です。しかし、自分の生活に出火の危険性があることや、自力で避難する



ことの難しさを認めさせることには、高齢者は抵抗感をいだくことでしよう。このため、周囲の皆さんは、高齢者のこのような心情に十分に配慮する必要があります。

火災の危険性の少ない生活への改善を、高齢者に一方的に求めるのではなく、家族や隣人、ホームヘルパーの皆さんが、高齢者と一緒に防火対策を考える機会を持つことが大切です。

消火器や住宅用火災警報器を設置する。暖房器具をより安全性の高いものに代える。ふとんやカーテンを防災製品にする。消火や避難方法、特に、高齢者はなるべく屋外に出やすい一階に休ませることや火災発生を周囲に知らせる方法…など住宅防火対策の必要性をよく話し合ってください。

図書館 だより

新刊書紹介

関ヶ原の合戦前夜、九州に漂着した英国人ウィリアム・アダムスは、時の権力者家康の厚遇を受けることになる。そして外交問題において彼は、幕府の政策に重要な影響を与えることに。特にオランダ、イギリスと日本の貿易に関して、その橋渡しをするなどした功績は大きい。望郷の思いを胸に日本の土となったアダムス。本書は、アダムスこと三浦安針の数奇な一生を描いた注目の書である。



『家康とウィリアム・アダムス』
立石 優著 恒文社

おすすめの1冊

『千日の瑠璃』(上・下)

丸山健二著
文芸春秋

この本は厚い。上・下で八センチもある。さぞ読むのに時間がかかるだろうと思ってしまう。だが心配はいらない。この本は千四頁で、その一頁は一つの視点から語られる。自然、生物、事物、思い、事件、言動など、人間をとりまくすべてが語り手なのだ。小説らしい筋書きは無いけれど、踊るように歩く病弱な少年の純粹な心と、その家族や町に起きる出来事が、淡々と語られてゆく。時にきりつけられるような劇しさがあって、著者の思索の豊かさを感じ、終わりに近づくと惜しかった。また、読む側にも視点がおり、どの様に受け取るか一様でないところに著者の意図があるかもしれない。



鹿島北読書会
吉井とみ子さん